

対馬釜山事務所だより

## 面白い日韓の花見

今朝、出勤準備をしていたら、テレビからワールドニュースコーナーの放送が聞こえました。

「今の時期、日本では桜の花見のために、連日大勢の人が上野公園に集まります。日本人は桜の花を見るだけでなく、その下で食べたり、飲んだりします。この花見の場所取りのために、ある会社では新入社員が朝7時からこの場所を守っていたそうです。」

画像は満開した桜の花の木がずらっと並んだ、桜の屋根の下で楽しんでいる人々。「えらく大勢の人だね。韓国でも花見で近郊に行くけど、朝の7時から場所取りってのはすごいね」と、うちの母は珍しそうにテレビを見ていました。

韓国でも花見をすることは以前、釜山事務所だよりで書いたこともありますが「コッノリ（直訳すれば花の遊び）」と言います。日本では「花見＝桜」というイメージが強いですが、韓国では「コッノリ＝蓮翹、桜、ツツジ、菜の花、梨の花、梅の花、山須臾の花」などを見に行くことを指します。

韓国の花見＝コッノリ（花の遊び）

ある時のコッノリはドライブがてらに、またある時は家族のピクニック、またまたある時は山登りなど。また、韓国では花見に行った所の「地元料理」を食べる傾向が強く、日本のような大々的な場所の取り合いはありません。むしろ、車のパーキングの場所取りが激しいです。写真（上）は、この前に行った蔚州郡に残っている倭城と桜です。

花見の帰りに見つけたワカメ干し

花見の帰りに（私には）珍しい光景を見つけました。ワカメ干し。日本でもワカメは食べますね。韓国でワカメは、生の物をコチュザン（唐辛子の味噌）に付けて食べたり、茎を炒めたり、お粥を作ったり、和え物にしたり、チゲにしたり、熱い汁または冷たい汁を作ったり、そして揚げたりして食べます。

一番、代表的な物がワカメ汁で、お産の後は必ず食べるメニューです。面白いのは、韓国でお産があった家にプレゼントとして長く干したワカメを送ったりしますが、縁起が悪くなるから折り曲げた物を送るのは禁止だそうです。ワカメは骨の密度を高めるカルシウムや人の新陳代謝に関係するヨードが多く含まれています。また、重金属を解毒する成分も多いので、この春の黄砂に含まれてきた重金属の退治のために、今夜はワカメの味噌汁一杯、どうですか。



PSB環境マラソンに国境マラソン入賞者が参加  
さて、桜が咲き始めた3月26（日）、釜山では「PSB環境マラソン」が開かれました。この大会は2年前から対馬の国境マラソンと交流を行い始め、お互いの大会に優勝選手を招待しています。今年は、去年の国境マラソンの入賞者であった白山正義（大阪市）さんと向井和子（北九州市）さんが大会に出場し、去年に続いて2年連続で上位に入りました。選手2人は大会の場で、去年の国境マラソンの参加者と会い、今年も国境マラソンで会いましょうと約束するシーンもありました。



蔚州郡の倭城と桜



対馬釜山事務所

キム キョンイル シン ウンキョン  
金 京一、辛 恩京